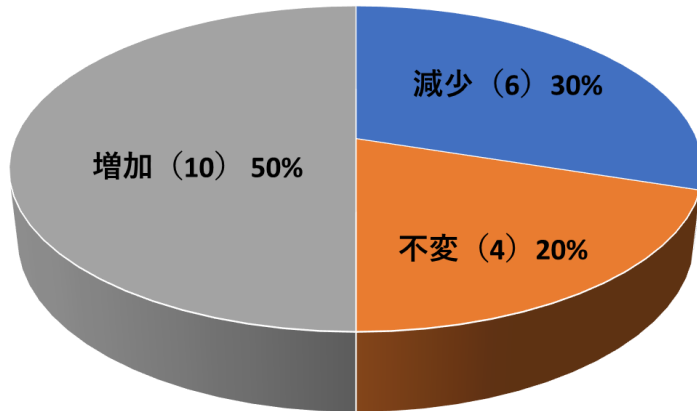


令和4年度景況調査

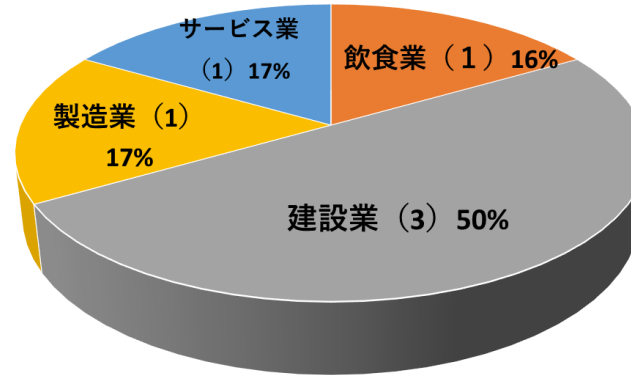
第四四半期（1月～3月）

①調査結果

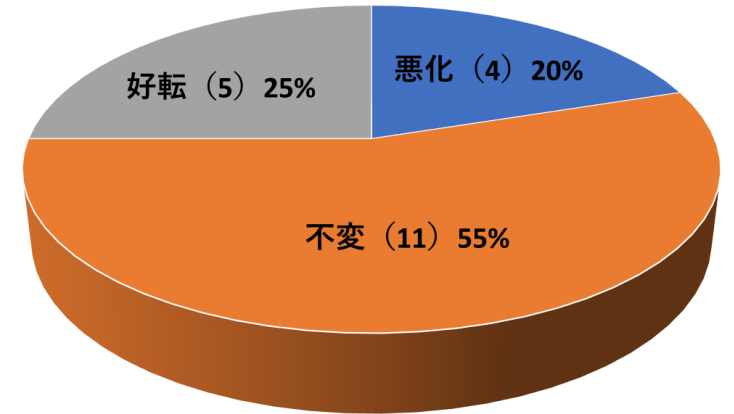
売上高の状況（前年比）



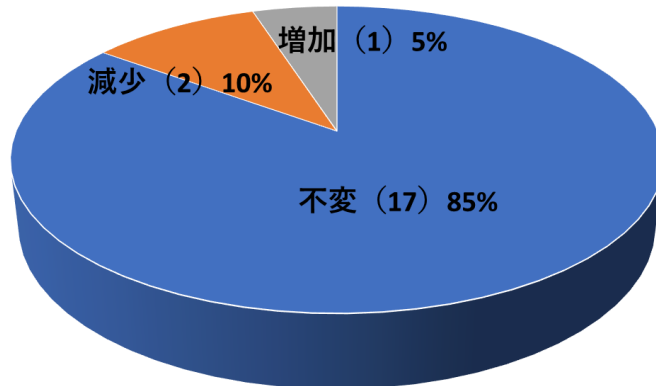
売上高減少企業の業種



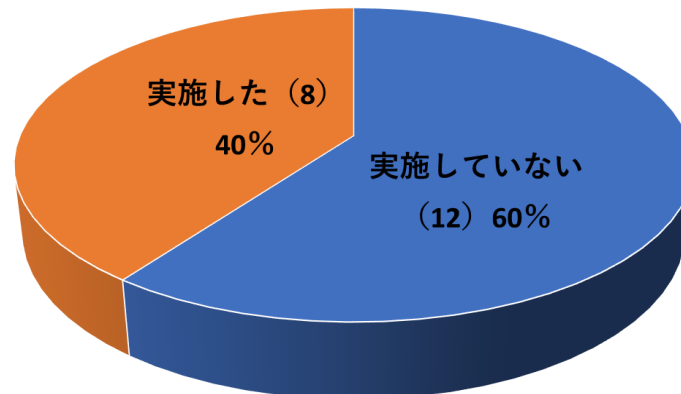
経常利益の状況



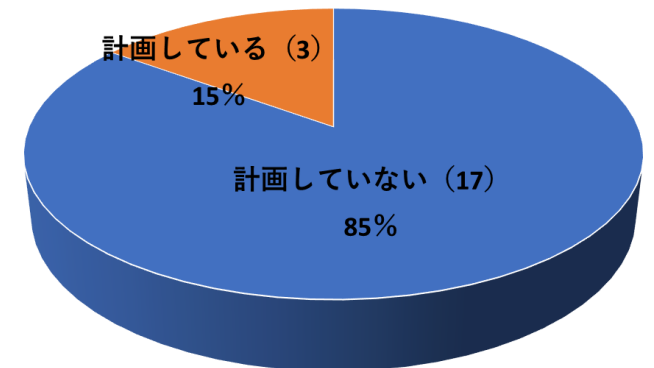
従業員数の状況



設備投資の実施（今期）



設備投資の計画（来期）



②分析結果

売上高については、半数の10社が「増加した」と回答しており、経済状況の回復の兆しが見られます。それに対して、経常利益については「不変」「悪化した」と回答した事業者が75%以上を占めており、原油・原材料価格の高騰が現在も続いている影響が表れています。

設備投資については、全体の40%の事業所が1～3月期に実施したと回答しています。前期調査段階では、設備投資を今期で計画していた事業所は全体の15%に留まっており、設備投資を積極的に行える状況にある事業所が増加したと思われます。また来期（令和5年度4～6月期）の設備投資の計画についても、15%ほどの事業所が予定しています。